

会員各位

日本テスト学会第2回大会を下記の要領で開催致します。
是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

(1). 開催期日：平成16年8月28日(土)・29日(日)

(2). 開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館

(3). 参加費：

・事前振込み(2004年8月10日(火) まで)

会員：5,000円、非会員：6,000円、学生(会員・非会員を問わず)：3,000円

・当日

会員：6,000円、非会員：7,000円、学生(会員・非会員を問わず)：4,000円

なお、参加費には抄録集1冊分の代金が含まれます。

また、大会当日日本テスト学会への入会受付も行います。当日入会受付をされた方は会員料金で参加できます。

(4). 懇親会：平成16年8月28日(土)午後5時30分より 東京工業大学 百年記念館(4F)にて

懇親会費：6,000円

当日の参加受付も致します。会場の関係で、人数に限りがございますので、定員になり次第、締め切らせていただきます。

(5). 連絡先：日本テスト学会第2回大会実行委員会事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学 大学院社会理工学研究科 前川研究室内

電話： 03-5734-3242 (実行委員長 前川真一)

03-5734-2848 (事務局長 栗山直子)

FAX : 03-5734-3242・2848

E-mail : jart-staff@ms.hum.titech.ac.jp

大会 Web ページ : <http://www.ms.hum.titech.ac.jp/JART2004/index.html>

(6). 参加費等振り込み先

振込先はいずれも郵便局の下記の口座です。

口座番号 00190-5-740489

加入者名 日本テスト学会第二回大会事務局

大会実行委員長 前川 真一

大会日程

8月28日(土)

9:00	チュートリアル受付
10:00	チュートリアル (会場調整中)
11:00	チュートリアル (会場調整中)
12:00	大会受付
13:00	一般セッション (A会場) 一般セッション (B会場)
15:30	総会 (A会場)
16:00	特別講演 (A会場)
17:00	
17:30	懇親会 (東工大 百年記念館)
19:30	

8月29日(日)

9:00	大会受付
9:30	一般セッション (A会場) 一般セッション (B会場)
12:00	昼食
13:00	シンポジウム (A会場)
15:30	一般セッション (A会場)
18:00	

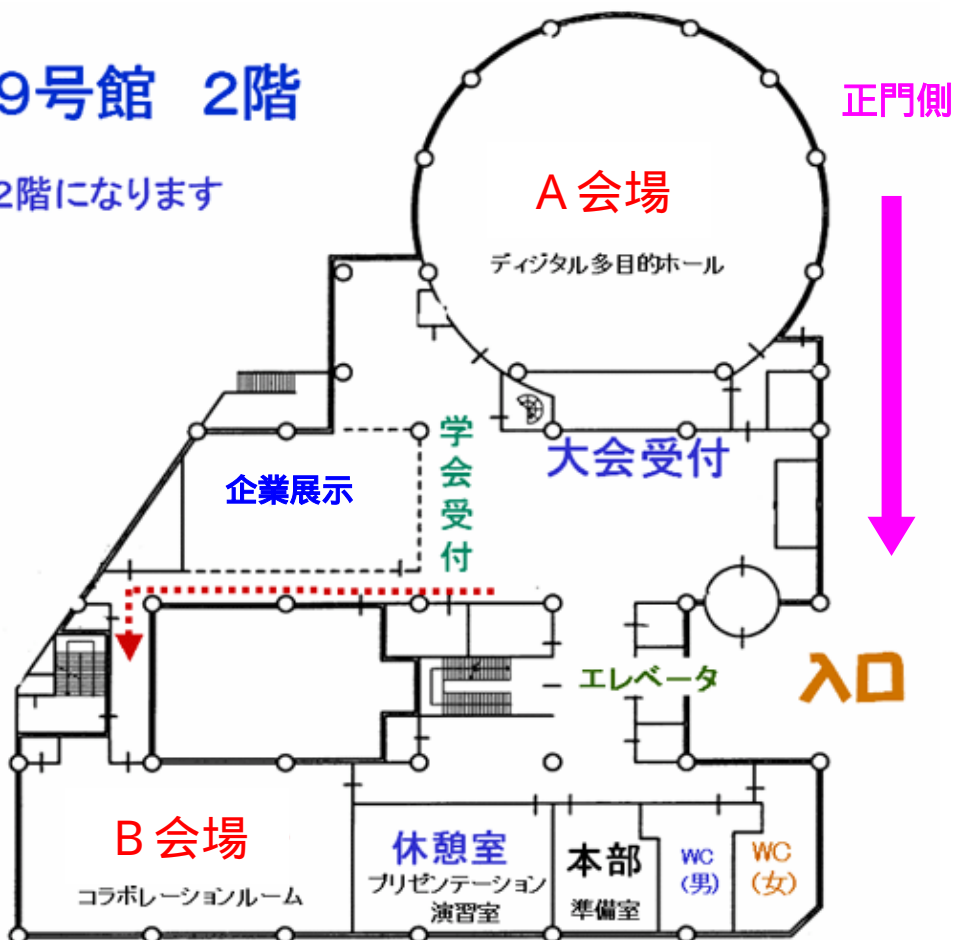
A会場：デジタル多目的ホール

B会場：コラボレーションルーム

大会会場案内図(西9号館)

大岡山西9号館 2階

建物の入口は2階になります



キャンパス案内図

会場案内 東京工業大学 大岡山キャンパス西9号館



東京工業大学への交通案内

東急目黒線 大岡山駅下車1分



東京駅・上野駅から

- ～ JR 大井町駅(京浜東北線) 東急大井町駅(大井町線)～大岡山駅
- ～ JR 目黒駅(山手線) 東急目黒駅(目黒線)～大岡山駅

羽田国際空港から

- ～ モノレール浜松町駅 JR 浜松町駅(山手線)～目黒駅 東急目黒駅(目黒線)～大岡山駅
- ～ モノレール浜松町駅 JR 浜松町駅(京浜東北線)～大井町駅 東急大井町駅(大井町線)～大岡山駅
- ～ バス(蒲田行) 東急蒲田駅(多摩川線)～多摩川駅 東急多摩川駅(目黒線)～大岡山駅

成田国際空港から

- JR 成田空港駅(成田線)～品川駅 品川駅(山手線)～目黒駅 東急目黒駅(目黒線)～大岡山駅
- ～ リムジンバス(東京シテイエアーターミナル) 営団地下鉄水天宮前駅(半蔵門線)～二子玉川 東急大井町線～大岡山駅
- 京成成田駅(本線)～日暮里駅 JR 日暮里駅(京浜東北線)～大井町駅 東急大井町駅(大井町線)～大岡山駅

発表者の方へ

- (1). 一般セッションの発表時間は、質疑応答を含め原則として20分です。
- (2). 各会場ではOHP（書画カメラ）と液晶プロジェクターが利用できます。液晶プロジェクターに接続するパソコン等は各自ご用意いただくか、大会事務局で用意するノートパソコンをご利用ください。また、液晶プロジェクターの動作確認はセッションの始まる前までに行ってください。
- (3). 発表のための資料は原則として抄録集に掲載されたものとしませんが、補足資料を配布される場合は各自ご用意下さい。大会事務局では、コピーサービスは原則的に行いません。
- (4). 発表者は、冒頭にかかれた方であることを原則とします。口頭発表者に変更がある場合は事務局までご連絡ください。

大会ご参加の皆様へ

大会会場では全面的に禁煙になっております。

喫煙場所につきましては、当日会場でご案内させていただきますので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

チュートリアル A

講師：村木 英治
東北大学

題名：BILOG-MG を活用した IRT(項目反応理論、Item Response Theory)テスト項目分析の初歩

チュートリアル B

講師：中村 知靖
九州大学

題名：因子分析を利用した心理尺度作成法

1. 確信度応答法による項目反応モデル

張 一平, 渡部 洋
(東京大学)

2. 項目間関連を考慮した項目反応モデルの提案

橋本 貴充, 繁樹 算男
(東京大学)

3. MULTILOG で利用できるモデルの共通項目法による等化

服部 環 (筑波大学)

4. VBA を用いた BILOGMG 3.0 を利用するための Excel ワークブックの開発

菊地 賢一 (東邦大学)

5. コンピュータ適応型テストにおける初期段階の項目選出が
受験者の最終的な能力推定値(真値)に及ぼす影響

韓 太哲, 村木 英治
(東北大学)

6. 2-パラメータ・ロジスティック・モデルの能力パラメータの推定における
項目パラメータの推定誤差の影響

佐藤 喜一¹, 村木英治²
(¹宮城工業高等専門学校・東北大学, ²東北大学)

7. Automated Test Assembly for Criterion-Referenced Equivalent Tests

Chuan-Ju Lin¹, Eiji Muraki²
(¹National Tainan Teachers College, ²Tohoku University)

1. PGI plus キャリア発達支援検査開発の試み

渡辺 直登¹, 坂爪 洋美², 西田 豊昭³, 菊地 達昭⁴, 早川 枝理⁴
(¹慶應義塾大学, ²和光大学, ³宇部フロンティア大学, ⁴株式会社NECユニバーシティ)

2. 教師の授業改善の視点からのコンピュータ・テスト・システムの持つべき機能

永岡 慶三 (早稲田大学)

3. 算数達成度調査の項目困難度および分散成分の推定

萩原 康仁 (国立教育政策研究所)

4. 大学生を対象としたプレースメントテストの開発と大学生の学力構造

小野 博, 西森 年寿
(メディア教育開発センター)

5. 潜在成長曲線モデルを用いた高校生英語学力の経年分析

齊田 智里¹, 服部 環²
(¹茨城県立並木高等学校・東北大学, ²筑波大学)

6. 大学入試センター試験既出問題を利用した共通被験者計画による英語学力の経年変化の調査

吉村 宰¹, 荘島 宏二郎¹, 杉野 直樹², 野澤 健², 清水 裕子²,
齋藤 栄二³, 根岸 雅史⁴, 岡部 純子⁵, サイモン・フレイザー⁶
(¹大学入試センター, ²立命館大学, ³関西大学, ⁴東京外国語大学, ⁵愛知県立大学, ⁶呉大学)

総会	8月28日(土) 15:30~16:00	於 A会場
----	----------------------	-------

特別講演	8月28日(土) 16:00~17:00	於 A会場
------	----------------------	-------

「Linear Models for Optimal Test Designs」
Wim J. van der Linden (University of Twente)

懇親会	8月28日(土) 17:30~19:30	於 東工大百年記念館
-----	----------------------	------------

1. 英語リスニング・テスト実施時の騒音発生状況シミュレーション

内田 照久¹, 中畝 菜穂子², 荘島 宏二郎¹
(¹大学入試センター, ²新潟大学)

2. 騒音発生時の英語リスニング・テストにおける得点調整シミュレーション

荘島 宏二郎¹, 中畝 菜穂子², 内田 照久¹
(¹大学入試センター, ²新潟大学)

3. 英語リスニング・モニター試験のアンケート結果から見た大学入試に関する公平感

中畝 菜穂子¹, 内田 照久², 荘島 宏二郎²
(¹新潟大学, ²大学入試センター)

4. 一般化可能性理論に基づく論文試験の解析 法科大学院統一適性試験の事例から

前田 忠彦 (統計数理研究所)

5. 法科大学院統一適性試験のテスト理論的検証

柴山 直 (新潟大学)

6. オーストラリアにおける医学部入学試験 GAMSAT にみる適性試験の考え方

大澤 公一¹, 石井 秀宗², 岩坪 秀一²
(¹東京大学, ²大学入試センター)

1. 多面観察評価手法の特性に関する検討 ~一般化可能性理論によるアプローチ~

入江 崇介, 鷺坂 由紀子, 舩田 博之, 二村 英幸
(HRR 株式会社)

2. 手指動作認識を用いたパフォーマンステストシステム

河合 岳, 小方 博之
(¹成蹊大学)

3. 動的テスト法(dynamic testing)の確立と客観的絶対評価の実現

寺澤 孝文¹, 吉田 哲也², 太田 信夫³
(¹岡山大学, ²常葉学園大学, ³筑波大学)

4. 作業手順の視覚による認識と評価を行うシステム(第2報)

受験者の立ち位置に影響しない作業手順認識

五十嵐 俊介, 小方 博之
(成蹊大学)

5. フィードバック機能を重視した形式的テストの実施方式

田畑 忍¹, 北 英彦¹, 高瀬 治彦¹, 林 照峯¹, 森田 直樹², 下村 勉¹
(¹三重大大学, ²東京工業大学)

シンポジウムテーマ

「公務員、大学研究者、企業組織人の評価・アセスメントを考える」

趣旨

近年、個人や組織の評価・アセスメントということが注目を集めてきています。評価・アセスメントとは、個人の能力や業績を客観化した資料をもとに、その改善を目指す作業であると考えられますが、その方法は、各界により様々なアプローチがあると考えられます。本シンポジウムは、現在、様々な分野において行われている評価の実際にお詳しい方々にお集まり頂き、その具体例や、技術的方法、また、問題点等について、お話を伺うことを目的としています。

発表者

渡辺 光明（人事院人材局）

大塚 雄作（大学評価・学位授与機構）

二村 英幸（HRR 株式会社 組織行動研究所）

坂元 昂（実務能力開発機構）

総合討論

池田 央（教育測定研究所）

司会

前川 眞一（東京工業大学）

1. IRT の多肢選択モデルと BUGS プログラム

繁榎 算男, 大森 拓哉, 森 一将
(東京大学)

2. 項目反応理論か項目応答理論か? - 訳語をめぐる私の見解 -

池田 央 (教育測定研究所)

3. 知識試験に必要な設計科学としての要件

柳本 武美 (統計数理研究所)

4. 一般知的能力検査における紙筆版と CBT 版の項目特性の比較

前田 純子, 藤田 彩子, 舛田 博之
(HRR 株式会社)

5. XML による情報記述とその可能性

斎藤 大輔¹, 大津 起夫²
(¹北海道大学, ²大学入試センター)

6. 共用試験 CBT 順次解答 2 連問・4 連問形式の結果の分析

荒木 孝二¹, 仁田 善雄¹, 大山 篤²
(¹東京医科歯科大学, ²東京医科歯科大学歯学部附属病院)